

総会を終えて、本年度の調査研究も次々にスタート

□ 自主研究「北海道における農村生活史と農協による生活インフラ形成に関する調査研究」研究班会議

(四月四日・六月八日)

□ 自主研究「准組合員問題に関する調査研究」現地調査

(四月二〇日、五月二三日、六月一四日・二五日)

□ 平成三〇年度第一回理事会

(四月二四日)

前年度事業報告と役員推薦会議設置及び通常総会開催を決めました。

□ 北海道農業公社委託事業研究班会議

(四月二六日、五月二日・九日)

今年度、北海道農業公社から受託した課題について、打ち合わせを行いました。

□ 自主研究「准組合員問題に関する調査研究」研究班会議

(五月一〇日)

□ 北農五連委託事業研究班会議

(四月二六日、五月一〇日・一七日・一八日、六月六日)

今年度、北農五連から受託した課題について、テーマ別に研究者が同席して打ち合わせを行いました。

□ 平成三〇年度役員推薦会議

(五月十一日)

理事の辞任に伴う補欠選任として、推薦する理事候補者を決定し、候補者名簿を理事長に提出しました。

□ 北海道豆類価格安定基金協会委託事業に関する研究班会議

(五月十一日) 及び聞き取り調査(六月一日)

今年度受託した、「豆類価格安定事業に関する調査研究」の

研究班会議と、聞き取り調査を行いました。

□農研機構生研支援センター委託事業の打合せ会議

(五月二五日)

ホクレン・十勝農試との研究コンソーシアムで契約している研究事業について、本年度の調査研究に関する打合わせを行い、体系別検討会(五月二五日開催)にて報告しました。

□北海道農産物協会委託事業研究班会議(五月一六日)及び聞き取り調査(五月二八日)

受託した研究課題「業務用米の実態と今後の動向」の研究班会議と聞き取り調査を行いました。

□自主研究「准組合員問題に関する調査研究」中間報告会(五月一七日)

北農五連の職員の方達を対象とした中間報告会を開催し、北海学園大学の宮入教授と酪農学園大学の糸山講師より、調査研究の経過報告を行いました。

□平成三〇年度第二回理事会(五月三一日)

総会に向けて、理事の辞任に伴う補欠理事

候補者(案)選任議案の提出を決めました。

□平成三〇年度(第二八回)通常総会

(五月三一日)

正会員総数二六〇会員、当日出席三二一会員、書面出席一七八会員、出席会員合計二〇九会員。総会終了後に特別講演会を実施しました。講師は福島大学 生源寺眞一教授で、演題は「食と農の未来を考える(新潮流と変わらぬ本質)」と題して講演して頂きました。講演会の内容は本号の特集コーナーをご覧ください。



□自主研究「消費者交流事業の展開とその効果に関する調査研究」研究班会議(六月六日)

□JAカレッジ委託事業研究班会議

(六月二一日)

今年度、JAカレッジから受託した課題について、研究者が同席して打ち合わせを行いました。

□自主研究「六次産業化・農商工連携の展開と農畜産物・食料市場のニューウェーブ」研究班会議(六月二九日)

総会に向けて、理事の辞任に伴う補欠理事

